

教育委員会 4 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年 4月 3日(水) 午後3時から午後3時50分まで

- 2 場 所 教育委員会室

- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 茅 野 理 恵
委 員 鷲 澤 幸 一
委 員 山 口 美 和

- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 前 島 卓
教 育 次 長 唐 木 英 俊
教育次長副任兼
総 務 課 長 北 島 克 彦
学校教育課長 佐久間 清 也
保健給食課長 山 口 恭 司
家庭・地域学びの課長 藤 原 慶 治
学 校 支 援 官 酒 井 好 和
総務課長補佐 穂 川 さゆり

- 5 書 記 総 務 課
庶務担当係長 児 島 真 季

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

令和6年度がスタートした。委員の皆様には、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度に入り、1日には市内の小・中学校に着任された校長先生33人に辞令をお渡しした。本年度は、転任20人、新任6人、再任用等7人と、全体の3割強の先生方が代わられた。私からは、第三次長野市教育振興基本計画に基づき「協働」をキーワードに長野市が取り組んでいること、本年度スタートする「しなのきプランⅡ」で、今までの学習観や子ども観の転換を図り、しなのきFinderの導入により、非認知能力を育み、認知能力としての学力を下支えすること、自学自習の資質のより一層の伸長を図ること、また、不登校児童・生徒のための居場所づくりとして、この4月にオープンするSaSaLANDについて、そして、ナガノスーパーサイエンスプロジェクトの更なる充実について等、お話をさせていただいたところである。新任・転任により、校長先生が新しく着任された学校へは順次学校訪問を予定しているので、いろいろとお話を伺ってまいりたい。

小・中学校の入学式は明日4日がピークとなり、ほぼ全校で新入生を迎え、新学期が始まる。本年度の新入生は、市立小・中学校合わせて5,354人、昨年度は5,687人で、単純に差し引きすると333人減少している。また、今年3月の市立小・中学校の卒業生は6,077人で、本年度の新入生5,354人を差し引きすると、在校生数が723人減となる。特に小学校においては、卒業生3,049人に対し新入生が2,574人であり、在校生が475人減となっている。中には、私立の学校を選択する方や転出された方もおり、それぞれ事情はあるが、確実に少子化の波が訪れており、活力ある学校づくりもスピード感を持って取り組んでいく必要があると改めて感じたところである。いずれにしても、4月6日にオープニングセレモニーを行うSaSaLANDが、8日から実際にお子さんを受け入れることになる。本年度はまず、このSaSaLANDの運営を軌道に乗せるということを直近の最重要課題として取り組んでいくとともに、未来を牽引する人材である子どもたちの無限の力の育成を目指して、新しい時代を見据えた学びの充実・発展に取り組んでまいりたいと考えている。引き続き、委員の皆様には御指導・御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

<教育長報告>

職務代理の指名について

- ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項の規定により、職務代理者を教育長が指名することとなっていることから、4月1日、近藤教育委員を教育長職務代理者として指名したので報告する。

近藤教育長職務代理者が挨拶をした。

- ・人事異動に伴う事務局新体制の自己紹介

<協議事項>

協議1号「長野市教育支援委員会委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

佐久間学校教育課長が説明した。

- ・3月臨時会後、上水内校長会から2人の推薦があり、委員を改めて委嘱したいため、協議をお願いするもの

丸山教育長

人事異動に伴うものということで良いか。

佐久間学校教育課長

そのとおりである。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告1号「市議会3月定例会で論議された主な政策課題等について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長が主なものを中心に説明した。

- ・学校の環境改善について
- ・教育支援センターSaSaLANDについて（経過・準備状況・運営方針）
- ・校内教育支援センターの支援員について
- ・SaSaLANDについて（学習支援）
- ・英語教育の充実について
- ・フリースクールの支援について
- ・学校給食における地産地消の現状と今後の取組について
- ・産業医の設置について
- ・給食費の公会計化について

委員 フリースクールについては、県でも認証が始まったところである。どのお子さんがどこへ行くのかという部分が難しいところではあるが、全県の様子を見ながらやっていっていただけると良い。

佐久間学校教育課長

県の県民文化部からの具体的なアナウンスについてはまだであるが、歩調を合わせながら連携して進めてまいりたい。

報告2号「令和6年度教育費予算について」

報告3号「令和5年度教育費補正予算について」

これら2つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が合わせて事務局に説明を求めた。

前島教育次長が説明した。

報告2号「令和6年度教育費予算について」

- ・教育費予算には、スポーツ部、観光文化部、地域・市民生活部など、市長部局によるものも含まれており、保健体育費の7割がスポーツ部、社会教育費の約半分が本年度から市長部局となった文化財課の予算である。
- ・「歳出一覧」は、令和5年度との比較のために文化財課分も含まれた金額となっており、令和6年度の実際の教育委員会分の教育費は、130億6千400万円余りであり、5項3、5、6、9目と6項1、2、4目が市長部局の予算となる。

報告3号「令和5年度教育費補正予算について」

- ・歳出について、学校施設整備費のトイレ洋式化改修、空調設備整備は、今後3年間の集中期間を設け実施していく。

- ・繰越明許費補正の小・中学校費は、令和5年度内の事業完了が見込めないため、繰り越すものである。社会教育費の芋井総合市民センター建設事業（公民館分）は、用地造成工事に要する経費であり、用地造成工事の前段階で行った既存建物の解体工事が入札不調となり、工事着工が遅れたことから、令和6年度に繰り越すものである。その他社会教育費については、文化財課分である。
- ・債務負担行為補正については、長寿命化改修工事における資材単価の上昇、建築業界における週休二日制の導入に伴う労務単価の上昇等により事業費が増額になる見込みであることから、変更したもの

委員 トイレ改修と空調整備は、短期間に工期が集中するとなれば、改修時期と工事に当たる職人とのスケジュール調整が難しいのではないかと思う。早めに発注していかないと職人の確保もできないのではないか。

北島教育次長副任兼総務課長

建築課でも課題にしており、調整して行っていく予定である。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島教育次長副任兼総務課長）
主催事業0件、共催事業1件、後援事業9件（賞状交付3件）

○教育長の職務に専念する義務の免除について

北島教育次長副任兼総務課長が、教育長の職務に専念する義務の免除について承認を求めた。

北島教育次長副任兼総務課長が説明した。

- ・長野市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例第2条に基づき、教育長が職務に専念する義務を免除されるためには、あらかじめ教育委員会の承認を得る必要がある。
- ・同条第1号は、「厚生に関する計画の実施に参加する場合」で、人間ドックなどの健康診断が該当する。
- ・同条第2号は、「職務に関連ある国又は地方公共団体の公務員としての職を兼ね、その職に属する事務を行う場合」で、現在想定されるものはない。
- ・同条第3号は、「行政の運営上その地位を兼ねることが特に必要と認められる団体等の役職員の地位を兼ね、その地位に属する事務を行う場合」で、長野県市町村教育委員会連絡協議会及び長野県都市教育長協議会に関する事務が該当する。
- ・これらに関し、職務に専念する義務を免除することについて、協議願いたい。

丸山教育長が諮ったところ、承認された。

次回以降の日程確認（北島教育次長副任兼総務課長）

5月定例会	5月7日（火）	午後3時	教育委員会室
6月定例会	6月5日（水）	午後3時	教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員